

7-8

主題 口腔機能維持への取り組みについて

口腔機能維持

豊かな日常生活

副題 かむことの大切さを知り、楽しく・美味しい食生活から
ADL 向上を目指して

研究期間 13ヶ月

事業所 社会福祉法人 武尊会 特別養護老人ホーム 伊興園

発表者：笹沼 博子 ・ 野中 理紗子

アドバイザー：歯科医師 大西 孝宣

共同研究者：齋藤 恵里・川和 瑞絵・中沢 恵美・井出 由利子・小古山 田鶴子

電 話 03-5838-1500

メール Iko-jimu@busonkai.com

FAX 03-5838-1501

URL <http://www.busonkai.com/ikoen/>今回発表の
事業所や
サービスの
紹介

伊興園は、特養養護老人ホームの定員130名(3フロア)とショートステイ定員26名からなる施設で、ご利用者様の尊厳を保持し有する能力に応じた自立した日常生活を安心して送っていただけるように、個別ケアに力を入れて取り組んでいる施設です。

《研究前の状況と課題》

私たちの生活の一部には、毎日食後ハミガキを普通に行い、口の中を定期的にケアするなどにより口腔機能の維持をしていますが、施設に入居されている方々にとっては、毎日ハミガキをして、口の中をきれいに維持することが自分自身ではなかなか難しいのが現状です。また職員が行うにしても短い時間でケアすることが精一杯で、清潔を維持することが十分にできないことから、肺炎などの病気を引き起こし、入院退院などを繰り返す要因の一つとなり、身体機能の低下・生活意欲の低下などを引き起こしている状況でした。

嚥下困難の利用者が増え食事摂取量が低下していく方々が多くなってきたのが課題であった。

《研究の目標と期待する成果》

そこで、園としてそのような状況を改善しようとして平成21年6月より取り組みはじめたのが口腔機能維持管理です。高齢者にとってなぜ、口腔内の清潔を維持することが大切なのかをはじめとし、「口腔ケア・マネジメントに係る計画」を構築し介護職・栄養士・看護師・相談員の多職種で共同のチームを組みました。

月1回、歯科医師の指導のもと、かむことの大切さを改めて確認し、知識、口腔内環境の維持・改善技術等を習得、そして介護職員が中心となって、ご利用者様にいつまでも、「美味しく」「楽しく」「安全」な食生活が送れるようにすることから、生活意欲・身体機能の低下予防などによる日常生活の豊かさの向上、肺炎の予防や認知症予防などを期待します。

《具体的な取り組みの内容》

「口腔ケア・マネージメントに係る計画」をたて、そこから施設職員への意識づけとして、口腔ケアの DVD をみる研修を数回にわたり実施後、歯科医師による研修を実施することから始めた。

次に、介護現場が共有している情報として、日頃の口腔内の状況写真・口腔内や口腔ケアの問題点、嚥下状態・食事形態などを記入した情報資料を作成するとともに、ご利用者様自身や職員の口腔ケアのやり方の情報を動画で撮影した。これら資料を月 1 回歯科医師の技術的助言や指導を受けながら、多職種で各々の専門的見地から困難事例や問題状況等の個別ケースを把握している。介護職のメンバーは指導員としてその内容を各フロアにもちかえる。喉に近すぎると、嘔吐反射を誘発する場合があるなどの留意事項に配慮しながら、また自ら受けた舌の磨き方やハミガキの仕方などの内容を職員に伝え、ご利用者様の口腔ケアを計画的に進めている。

また、「かむことの大切さ」を互いの専門性の関わりから意見を交換し、連携を図り、職員のケア技術の標準化と意識の向上を図り、利用者様一人ひとりの口の中の環境を維持している。

《取り組みの結果と評価》

職員の意識の中に、かむことの大切さや口腔ケアに対する意識が動機づけられたことで、ご利用者様一人ひとりの口腔ケアに対して、口腔内環境の清潔をどのように維持したらよいかなど口腔内を観察するなど関わり方が変わってきた。実際に口腔ケアのやり方を動画で撮影したのを見ながら、口腔ケアのやり方・ご利用者様の表情・声かけの方法などを改めて確認することができている。また、多職種でチームを組むことで、互いに持っているご利用者様の情報を共有し、その方にあった内容の口腔ケアが実施できるように、チームメンバーが、それを実際に関わる職員に伝え実施することで、口腔内の改善が図られてきた。

ご利用者様の中には、舌にある苔がきれいにとれたことで、味を感じるようになり食べる意欲がでて摂取量が少しずつ増えてきたなど、口腔ケアの成果がみられるようになった。

《まとめ》

取り組みをはじめる前は、「口の中をきれいにすれば良い」という簡単な考えであったが、今ではご利用者ひとり一人の口内環境を考え、どのようなケアをしていけば改善していけるのか、職員一人ひとりが考え実施できるようになってきた。また、多職種で取り組むことにより、施設職員全員で、口腔ケアの技術力を高め、かむ力を向上させ、日頃のコミュニケーションや ADL の向上・認知症の予防につなげていきたい。

《提案と発信》

日頃なにげなくしていた口腔ケアでしたが、歯科医師の助言・指導を受けることで、ご利用者様の口腔清潔はもちろんのこと、自分たちの口の中にも興味をもつことができました。口腔ケアを継続実施することにより、ご利用者様の日常生活の満足度が向上することを期待しています。

【メモ欄】追加資料 有 無